

ふれあい雪谷

平成27年 4月 さくら号 通巻第98号



希望ヶ丘・中島敦子さんの作品

今やる事、出来る事



私は、仕事上ご高齢の方々にお会いし、お話を伺う機会がたくさんありました。お友達との交流が盛んで、旅行など自由に外出されている方、熱心に趣味活動を行っている方や地域活動や催しに積極的に参加している方など、お元気な方が多くいらっしゃった事に驚き、安堵もしました。その反面、病気や怪我が原因で日常生活が思う様にならず、介護を必要としている方も数多くいらっしゃいました。思いもよらない状況の変化の中、それでも一所懸命に生活されていることに感動したこともありました。

皆様（人生の先輩）からお話しを伺い、私の今後のあり方として教わった事がたくさんあります。これまでやって来た事やこれからも続けられることを考え、今やっている事や出来る事など、どんな事でも続けていくことが大切だということです。

高齢化社会の中、自分がどう生きて行くのか・・・は最大の課題です。若い頃は簡単に出来た事が少しずつ難しくなってきたり、短時間で出来ていた事に時間が掛かるようになって来ました。あれもこれもと考えると、時間が足りず一年があっという間に過ぎてしまいます。振り返ってみると大した事も出来ないまま時間が経っている様にも思えますが、一日一日は結構頑張っているのだと思います。

皆様から学んだ事を、これからも思い巡らせて、元気に、自分らしく生きていきたいと思っています。お会いした皆様に感謝しています。ありがとうございました。

（雪谷石川台・芳田悦子）

お詫びと訂正

「ふれあい雪谷」平成27年新年号の「年男・年女今年の抱負!!!」の希望ヶ丘・木村ヤス子さんの掲載内容に誤りがございましたので、訂正いたします。
誤 「防災部員として」 → 正 「防犯部員として」

編集後記

桜吹雪舞う中原街道一。江戸無血開城を成し遂げた勝海舟が、颯爽と駆け抜けていく・・・。

こんな情景を思わずイメージした希望ヶ丘山崎さんの古老のお話。身を乗り出し熱くなった編集会議でした。大森六中前の鳳凰閣（旧清明文庫）跡に日本で初の海舟の記念館が創設されるのお話を伺っています。歴史の宝庫、わが街の財産が、又一つふえていきます。

海舟も愛したわが街、皆さまの生活がいきいきと伝わります様「ふれあい雪谷」100号に向け走り続けます。是非、各編集まで皆さまの声をお届けください！

“心ふれあう水と緑と坂のまち”子供たちにとっても安心・安全の魅力ある街であり続けますように。（池の台・柏三八子）

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日) 年4回発行
[1月・新年号/4月・さくら号/7月・あさがお号/10月・もみじ号/の1日発行]
[発行日] 平成27年(2015年) さくら号 4月1日(通巻・第98号) 発行
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]「ふれあい雪谷」編集委員会
[連絡先] 雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html

酒は百薬の長・酒呑みはなぜ左利きといふのでしょーう？

一世紀の初めごろ、中国に前漢と後漢との間に十四年間つづいた『新』という王朝がありました。これは前漢の外戚に当たる王莽（おうもう）が、前漢の幼帝をしりぞけて自ら帝位について建国したもので、その政治は中央集権的な国家管理を強めたもので、ことに塩、酒、鉄は政府の専売としました。

その布告によると「塩は食肴の将、酒は百薬の長、嘉会の好、鉄は田農の本」つまり塩は調味のもと、酒はどんな薬よりも身体にきき、宴会にはなくてはならぬもの、鉄は農工用具のもと、ゆえに人民は大いに用いるべし、というのですが、政府の役人と商人がワイロで腐敗したので人民は苦しみ、やがて内乱が起こって新は亡びたのです。

しかし王莽の残したコマ・シャル「酒は百薬の長」は口調がよいので今日まで残っています。

盃は右手に持ちます。だのに、なぜ酒呑みは左利きといふのか、酒徳利をもって、お酌をしてくれる人がいれば、盃は右手で受けるのが当然です。それはお酌をしてくれる人がいないので、自分で徳利を右手に持つての独酌となるのです。居酒屋でちびりちびりの独酌はつい度が過ぎて大酒になるのです。左利きが酒呑みといわれる所以ですが、これは左利きでしか酒を呑めない、庶民階級のうら悲しい代名詞でもあります。

（南雪谷・HT）



避難所運営協議会に「マンション部会」

東日本大震災から4年になりました。被災地では思うように復興が進んでいないような状況です。大森十中避難所運営協議会では、高齢者や要支援者の調査や防災説明会、マンション交流会などに取り組んできました。

マンション交流会では、開催の度に協議会のメンバーが各マンションを訪ね、案内を直接手渡ししました。地区には100棟を超えるマンションがあり、大変なことでしたが、多くの参加がありましたし、そのような中で、協議会主導の「マンション部会」が発足しました。

これまで4回の部会が開かれ、組織や今後の活動を計画しているところですが、当面の目標は、地区



内の各マンションより代表者に部会に出席していただくことです。自助・近助・共助をすすめてゆくために、専門家の方による勉強会を開いたり、災害に向けた備品の準備や地域毎の合同防災訓練や合同交流会の実施まで進められたらと考えています。

（上池上・船山康夫）

洗足池の“池”についてお話しします

①概要

洗足池の広さは39,000㎡(11,800坪)で全公園面積77,000㎡の半分を占めています。水深は平均で1.5m最も深いところでは2mです。底に1m弱の水と土が混じった層があり、どこまでを水深と呼ぶか難しいので目安の数字です。貯留している水はおおよそ60,000m³に及びます。

②水源

では池の水はどこから来ているのでしょうか。池の北側に2箇所の流入水があります。この流入水は主として北千束、南千束地区の雨水を浸水性舗装、碎石水路、浸透側溝などの手段によって地中に浸透させ集められた水なのです。流入する水は季節によって変化しますが1日数100m³程度です。

かつては池の水を掻い堀りして干し上げ捕獲された鯉が地域住民のタンパク源になったこともあったようです。環境保全、水質保全のためには掻い堀りもひとつの手段ですが、現在では浚渫(しゅんせつ)した土の処分が困難なうえ、流入水が少なく再満水まで100～200日かかってしまうため実施できずにいます。

③水質

昭和の高度成長とともに悪化が進んだ池の水質は平成の初め頃には悪臭がするとの苦情が出るようになりました。アオコが大量に発生し水面に緑のペンキを流したようになってしまったのです。アオコは水中の酸素を消費する上、光を遮って水草の生長を阻害して生態系へ大きな影響を与えます。そこで区は水質浄化に乗り出しました。池の北側、児童館の前にある四角い建物が浄化設備の地上部です。池の水をポンプで吸い上げ、凝集剤を加えて攪拌してアオコやリンを吸着させて沈殿させた後、処理された水を池に戻しているのです。これによってかつては水質の悪化基準を大きく上回っていた数値を大幅に改善させました。この浄化設備は池の水全体を9日間で一巡する能力があり現在も日々稼働しています。

④魚類など

洗足池に生息する魚で目につくのは鯉です。しかし一番数が多いのはモツゴ(クチボソ)なのです。体長10cm以下で地味な魚のため気付かれることがあまりないようです。その他、岸際の池底ではヌマチチブ、ヨシノボリなどの小魚の姿も見られます。一方、外来種で駆除が望ましいのはソウギョ、ブルーギル、アメリカザリガニです。これらはいずれも侵略的外来種ワースト100に入っています。ザリガニはときたま駆除のため捕獲されているのを見受けますが、魚は釣り禁止のため捕獲が難しいようです。悪名高いブラックバスは幸いなことに最近では魚影を見たとの報告がないそうです。

以上はふれあい雪谷編集委員が大田区調布まちなみ維持課から話を伺ってまとめました。

こうしてみると洗足池はもはや自然の循環だけでは成り立たず、さまざまな方面の尽力によって現状を保っていることがわかります。来園される皆さまも鳥や魚への給餌などで水質を悪化させないようにお願いいたします。

(笹丸・荒井啓治)

小池公園春祭り



知っていますか？小池公園春祭り！昭和9年から約70年、釣り堀として有名だった小池が、平成20年4月12日小池公園として生まれ変わり、盛大にオープニングセレモニーが行われました。小池若者組合(小池の祭礼の執行組織で組合員約80名)では小池が公園になった事を記念して、洗足風致協会並びに小池自治会の協賛を得て、毎年恒例行事として翌年から“小池公園春祭り”を4月の第一土曜日(雨天は翌日曜日)に開催する事を決め、今年の4月4日(土)で、早いもので回を重ね第6回目となります。

小池公園の桜や春の草花や鳥を見ながら、小池公園の春祭り会場は、「ワイ綿あめだ」「ヨーヨー釣りもあるよ」「餅つきも！」といった模範店(ほかに輪投げ・スーパーボールすくい等・小池若者組合で運営)が出店、子供達の楽しそうな声であふれ、賑わいをみせています。

小池若者組合(年寄りが多い?)の目的は、ただ“秋の祭礼”の執行だけではなく、地域の活性化・明るく楽しい町づくりそして誰もが参加出来る、多面的な祭りに変えるべく組合員一同、地域の方々と一致協力して努力しています。

小池若者組合の他の行事として、12月の子供餅つき大会、年末年始餅つき等を実施、特に年末年始餅つきには、小池稻荷神社を参拝される300人近くの方々にお餅を配って喜ばれています。

是非ぜひ一度“小池公園春祭り”に来て、春の小池公園の素晴らしいさを満喫して頂き、模範店で親子で、おじいさん・おばあさんとお孫さんと、楽しんで下さい。最後に小池若者組合に興味のある方は、責任者穂苅(TEL3729・4543)又は須網(TEL3727・3924)迄連絡下さい。

(小池若者組合・顧問 須網俊一)

第6回小池公園春祭り開催のお知らせ

小池若者組合では、今年も洗足風致協会並びに小池自治会の協賛を得て、下記のとおり開催いたします。

日時 4月4日(土) 午前10:00～午後1:00
※雨天4月5日(日)

場所 小池公園

催し物 餅つき、綿アメ、宝釣り、輪投げ、ヨーヨー釣り
スーパーボールすくい等

春の小池公園に皆さまお誘い合わせのうえお出かけ下さい。

中原街道 勝海舟 馬に乗る

- 明治維新で活躍した勝海舟は中原街道を馬に乗り、政治の舞台で活躍しました。現在久が原に住むAさんの曾々祖父は146年前、維新の政変の中、洗足池から池上方面へ刺客に襲われない安全なルートを利用した馬術堪能な海舟を見たそうです。
- 池上大坊の御灰骨堂の扉に龍の彫刻を手掛けたのは東雪谷2丁目塚原彫刻師です。地域の皆さんと拝見し、近所にこのような仕事をする人がいると感嘆しました。
- 昔、洗足池は広く大きく池上の近くまでつながった池でした(『新編武蔵風土記稿』1828年完結の幕府編さんの地誌より)。だから現在でも、地面を掘って水が湧き出る場所があります。

私は大田区まち歩き(池上本門寺)ボランティアをしています。このような地域の歴史、文化、自然を学び、知っていることを教えあっています。地元の皆さんには先祖からの伝えがあり、それは私にとって歴史の宝庫です。

私は雪谷に昔から住んでいる顔をしていると近所で言われます。それは近所の人と、歴史、文化、自然環境など地域の魅力の伝えあいを楽しんでいるからです。これからもますます地域探検を行い、わが町を愛し、昔の人の知恵を学びたいと思います。

(希望ヶ丘・山崎マサ子)

新一年生を見守るたくさんの目

大田区立小学校の中で最も児童数が多い池雪小学校です。平成26年度の1年生は、6学級でした。平成27年度の新1年生も同様の学級数を維持できました。昨年度は、6学級全ての学級で1年生は、落ち着いて学習と生活に取り組むことができました。

この理由は、池雪小学校では、1年生を見守る細やかで温かいたくさんの目があるからです。6年生は、グループ編成をし始業前や休み時間など、1年生とふれ合いながら学校生活に慣れるよう手を差し伸べます。また、「池雪いきいき応援隊」による「新1年生にここをサポート」があります。給食支援から帰宅時のルート別下校に至るまで、ボランティアがサポートをします。これらの活動は、5月末を目処に終了しますが、その後も1年生の学校生活での自立を、担任をはじめ教職員や上級生で温かく見守ります。

1年生の保護者の皆様、どうぞご安心ください。細やかで温かい見守り活動ができる池雪小学校です。私の息子2人も、祖父母からプレゼントされたランドセルを背負い、入学を心待ちにしていたことを昨日のことの様に思い出します。この期待に応えていくことができますよう、教職員と努めてまいります。

(池雪小学校校長・三田盛久)

